

1 水道の普及

本県の水道は、甲府市が大正2年3月に給水人口10万人の施設を創設したのを初めとして、昭和10年までに上野原町、都留市、河口湖南水道企業団、大月市、勝沼町、富士吉田市が創設し、現在20施設の上水道が県内総人口の約7割の人々の生活を担っている。

しかし、簡易水道への依存率は依然として高く、事業の経営規模も給水人口300人以下の小規模のものが多い。

水道の普及は、戦後の生活水準の向上と衛生思想の普及、昭和27年の簡易水道に対する国庫補助制度の創設、さらに、昭和30年代からの経済成長に伴う施設数、給水人口、給水量の増加、昭和38年度の県単補助制度の創設等によって促され、昭和51年度には90%台に達した。

以後、昭和54年度に山梨県水道整備基本構想を策定し、未普及地域の解消や広域的な水道整備促進に努めてきた。

平成19年度末の給水人口は868,909人で、総人口887,537人に対する普及率は、97.9%である。

市町村別の普及率は、市98.6%、町96.3%、村81.5%となっており、町村の普及率が市の普及率に比べて低い現状にある。

普及率が100%の市町村は1団体、95%以上の市町村は20団体、85%未満の町村は2である。

現在給水人口と普及率 (平成20年3月31日現在)

(単位：人)

区 分		市	町	村	計
総 人 口		753,564	112,202	21,771	887,537
給 水 人 口	上 水 道	603,756	57,170	3,361	664,287
	簡易水道	138,912	50,768	12,261	201,941
	内 訳				
	公 営	138,912	50,768	11,865	201,545
	その他	0	0	396	396
	専用水道	490	62	2,129	2,681
計		743,158	108,000	17,751	868,909
普 及 率 (%)		98.6%	96.3%	81.5%	97.9%